

**愛媛県地震被害想定調査結果（第一次報告）**  
**における西条市の被害想定について（お知らせ）**

平成25年6月10日

総務部危機管理課

愛媛県では、平成13年度以来となる地震被害想定調査として、南海トラフ巨大地震のほか、本県に大きな影響を及ぼす4つの地震による被害想定調査を独自に実施しており、そのうち、今回「震度分布」、「液状化及び土砂災害の危険度」、「津波高や浸水域」等の結果を取りまとめ、第一次報告として公表しましたのでお知らせします。

（以下、H25.6.10 愛媛県公表資料より抜粋）

### 1 南海トラフ巨大地震による西条市の震度分布・津波高

項目		愛媛県 (H25.6.10公表)	中央防災会議 (平成24年度)	愛媛県 (平成13年度)
最大震度		震度7	震度7	震度6弱
最大津波高		3.4 m	4 m	—
津波到達時間	海面変動±20 cm	5 分	不明	—
	津波高+1m	222 分	不明	—
	最高津波高	461 分	不明	—
浸水面積	1cm以上	3,360 ha	100 ha	—
	30 cm以上	3,145 ha	100 ha	—
	1m以上	2,649 ha	90 ha	—
	2m以上	1,741 ha	70 ha	—

### 2 各想定地震による西条市の震度・液状化・土砂災害の想定結果

No	想定地震	震度	液状化 (PL値)	急傾斜	山腹 崩壊	地すべり		
						砂防	森林	農地
①	南海トラフ巨大地震(M9.0)	7	77	A	A	A	A	A
②	安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震(M7.4) ※芸予地震	6弱	41	A	B	B	B	B
③	讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部(M8.0)	6強	64	A	A	A	A	B
④	石鎚山脈北縁(M7.3)	6強	69	A	A	A	A	A
⑤	石鎚山脈北縁西部－伊予灘(M8.0)	7	67	A	A	A	A	A

【PL値と液状化危険度の関係】

30.0 < PL : 液状化危険度は極めて高い      0.0 < PL ≤ 5.0 : 液状化危険度は低い  
 15.0 < PL ≤ 30.0 : 液状化危険度はかなり高い      PL = 0.0 : 液状化危険度はかなり低い  
 5.0 < PL ≤ 15.0 : 液状化危険度は高い

【土砂災害危険度ランク】

A : 危険度が高い      B : 危険度がやや高い      C : 危険度が低い

### 3 今後の予定

- 「人的・物的被害」及び「経済被害」については、第二次報告以降、順次公表されます。
- 今後、県では、市町と構成する「広域防災・減災対策検討協議会」を設置し、減災プログラム、広域防災について検討を行うこととしています。